

## 会長挨拶

秋も深まりました。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

今年の夏はいわゆる猛暑日が多く、老人には「しんどい」日々が長く続きましたが、何とか乗り切りました。秋は言葉通りの「実りの秋」です。農家の皆さんが丹精されたお米や果物を沢山食べて、夏バテを解消しましょう。

前号で皆さんにご挨拶してからわが国の政治に大きな動きがありました。突然のことで驚かされましたが、安倍政権から菅政権への移行が行われました。年初以来の「コロナ禍」は残念ながら解消されていません。さらに「コロナ禍」の影響で日本の経済は落ち込んでいます。これらへの対応・対策は喫緊の課題であり、今後の日本の行方に大きな影響を与えるものでしょう。我々も出来ることをして、今後の日本を盛り上げていきましょう。今は日本国民みんなの力が必要なときだと思います。

千葉県でも少ないながらもウイルス感染の陽性者が途切れることがありません。クラスターの発生も見受けられます。各施設の皆さんは、毎日、緊張感をもってお仕事をされていることと思います。皆さんは利用者さん、そのご家族の方々など沢山の皆さんに頼られる存在なので、大変でしょうか頑張って下さい。応援しています。

一方で世界に目を向けると「コロナ禍」のため世界経済は依然として不安定な状況が続いています。更にアメリカと中国の新冷戦ともいえるべき対立関係、アメリカ大統領選挙などこれからも経済に大きな影響を与える事柄が続いていきます。大変な1年になりそうですが、皆さんからお預かりした資産の運用については、大きな利益を追うことなく、堅実な、確実な運用を心掛けています。幸い年度末のコロナショックは大したことなく、無事に回復することが出来ました。今後も油断することなく、更に「一喜一憂」することなく、資産運用に努めていきます。

また、コロナウイルス対策のために例年皆さんに楽しんでいただいていたイベントが提供できていません。申し訳なく思っていますが、徐々に規制が緩和されてきていますので、例年通りとはいきませんが、少しずつお楽しみいただけるよう参加者の募集を開始します。コロナ対策をしたうえでの楽しみになってしまうでしょうが、厳しい仕事を離れてリフレッシュしていただけるようなイベントの提供に努めていきたいと考えています。

最後に、共助会事務局の体制強化について申し上げます。共助会は10月1日から事務局次長のポストを新設して、「松浦信行」氏をお迎えしました。今後皆さんにもお目にかかる時があると思いますが、よろしく願います。



共助会会長 越川 和哉



東京ディズニーシーの「パーク・ファン・パーティー」

また皆さんで楽しめる  
その日までお待ちください。



## ▶▶ 令和元年度事業報告

令和元年度末現在、共助会の加入者数は21,456名となりました。この1年での純増数は168名でしたが、皆様方には本会の退職共済制度をご理解いただき、当会も期待に応えるべく更なる充実を遂げられるよう福利厚生事業とともに改善に取り組んでいく所存です。

退職金の給付に関わる財政状況については、令和元年度末現在、本会は時価総額にして約226億円の資産を保有し

ており、仮に令和2年3月末の加入者が全員退職した場合に支給を要する退職一時金約244億円の92%を確保しています。年度末に新型コロナウイルスによる影響を受けて、前月よりも充足率は5ポイント低下しました。

総じて令和元年度の業務は滞りなく執行され、皆様へ決算をお示しすることができました。以下、その概要をご報告いたします。

### 公益目的事業

#### ◆退職共済事業

- 退職者 2,788名  
(うち、有給付2,212名、無給付576名)
- 退職一時金等支給額 1,870,290,746円
- 退職年金受給者 11名
- 退職年金支給額 5,648,232円



#### ◆福利厚生事業

##### 〔共助会〕

- 生活資金の貸付 本年度内貸付91件  
88,400,000円
- 契約施設割引利用券の斡旋
- 会員交流事業企画を計画し、加入者とその家族を対象に斡旋しました。

##### 〔ソウェルクラブ千葉〕

本会は、全国組織である福利厚生センターから千葉県の窓口として事業の一部を受託しています。

- 会員交流事業企画を計画し、会員とその家族を対象に斡旋しました。
- 未加入法人の中から訪問施設を選定し、福利厚生センターの担当者として説明に伺いました。

#### ◆研修事業

##### 〔研修内容〕

- 第1回「ディズニーアカデミー・ゲストサービススタイル」
- 第2回「ディズニーアカデミー・キャストトレーニングスタイル」



#### ◆広報普及事業

- 機関紙「共助会ニュース」の発行 3回  
1回あたりの発行部数 22,000部
- ホームページによる情報開示
- 新規加入勧奨  
未加入法人へ本会のご案内資料を送付しました。  
訪問法人を選定し、施設にて事業説明を行いました。

### 会員相互扶助等事業

#### ◆慶弔金の支給

加入者が結婚、出産（配偶者も含む）、死亡したときに支給しました。

結婚祝金	500件	9,980,000円
出産祝金	566件	5,655,000円
弔慰金	9件	450,000円



#### ◆長期在籍者顕彰事業の実施

令和元年度中に掛金納付期間25年の加入者128名を対象とし、顕彰状と記念品を贈呈しました。  
(式典および懇親会の開催は、新型コロナウイルスの影響により中止しました。)

### 法人事業

#### ◆総会の開催(2回)

- 令和元年6月 平成30年度事業報告書・収支決算書(案)  
役員改選(案)
- 令和2年3月 令和元年度収支補正予算書(案)  
令和2年度事業計画・収支予算書(案)

#### ◆理事会の開催(5回)

#### ◆監事会(監査)の開催(2回)

#### ◆会計監査人(SK東京監査法人)による外部監査の実施



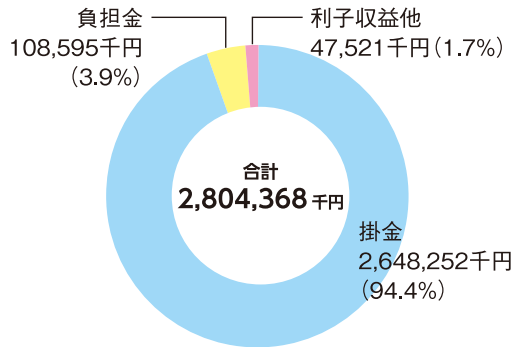
関東ブロック民間社会福祉従事者共済制度情報連絡会は、長野県で開催予定でしたが、台風の影響で中止となりました。

# 正味財産増減計算書

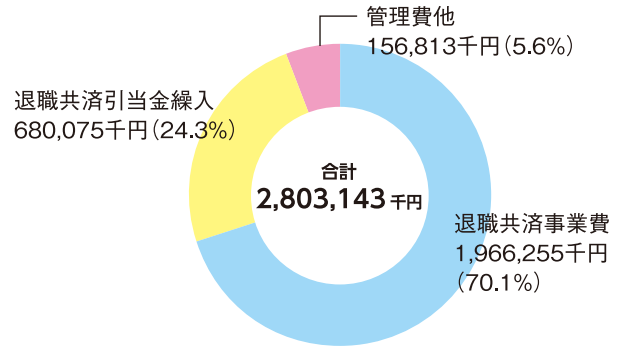
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで (単位:円)

会計区分	公益目的事業会計	会員相互扶助等事業会計	法人事業会計	合計
経常収益計	2,758,346,525	15,887,117	30,134,819	2,804,368,461
経常費用計	2,753,684,259	23,998,522	25,460,053	2,803,142,834
評価損益等調整前当期経常増減額	4,662,266	△ 8,111,405	4,674,766	1,225,627
特定資産評価損益	△ 331,531,291			△ 331,531,291
特定資産売却損益	2,662,507			2,662,507
特定資産償還損益	△ 1,480,000			△ 1,480,000
当期経常増減額	△ 325,686,518	△ 8,111,405	4,674,766	△ 329,123,157

## 【収益の部】



## 【費用の部】



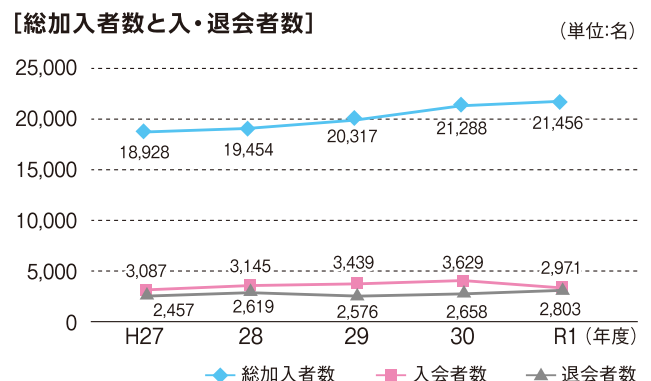
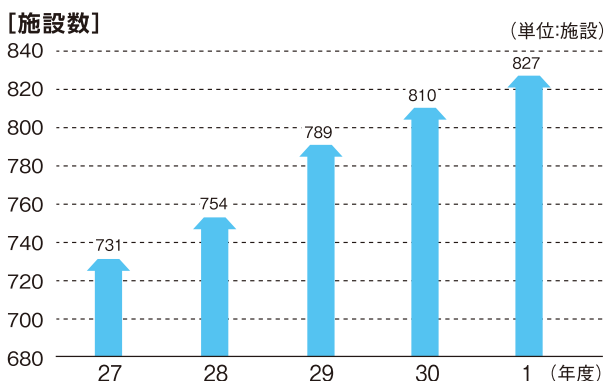
# 貸借対照表

令和2年3月31日現在 (単位:円)

資産の部	科目名	金額
<b>流動資産</b>		893,474,839
	現金預金	844,042,807
	1年以内回収予定長期貸付金	49,215,032
	貯蔵品	217,000
<b>固定資産</b>		21,795,188,525
	基本財産	200,000
	退職給付引当資産	12,946,427
	退職共済引当資産	21,397,888,046
	共済事業未収金	212,600,180
	貸付資金引当資産	17,341,172
	福利厚生事業引当資産	1,221,862
	什器備品	7
	リース資産	812,607
	ソフトウェア	5,053,830
	長期生活資金貸付金	147,124,394
<b>資産合計</b>		22,688,663,364

負債及び正味財産の部	科目名	金額
<b>流動負債</b>		890,165,960
	未払金	887,418,452
	未払費用	95,177
	仮受金	821,133
	預り金	77,324
	賞与引当金	941,267
	1年以内返済予定リース債務	812,607
<b>固定負債</b>		21,280,584,937
	退職給付引当金	12,946,427
	退職共済引当金	21,267,638,510
	リース負債	0
<b>正味財産</b>		517,912,467
<b>負債及び正味財産合計</b>		22,688,663,364

## ▶ 加入状況の推移



# 福利厚生

福利厚生は「ソウェルクラブ」にお任せください！！

## ソウェルクラブとは

社会福祉法人福利厚生センター（通称：ソウェルクラブ）とは、社会福祉事業に従事する方々の福利厚生の増進を図ることを目的に設立された組織です。

共助会は、ソウェルクラブから業務の一部を受託しています。

## 加入のメリット

会員になると、日頃の激務から離れた際に心身のリフレッシュを手助けしてくれるサービスが沢山受けられます。その結果、以下のようなことにつながります。

1. 仕事に対する意欲の向上
2. 良好な職場環境
3. 優秀な人材の確保と定着



4. 施設利用者の満足度が上昇

5. 社会福祉事業界の活性化



social (社会)とwelfare (福祉)の頭文字をとってsowelと名付けられました。

## ＜加入要件＞

加入対象：社会福祉事業に関わる方々全て  
会費：1万円（会員1人当たり）  
※事業主にのみご負担いただきます。

## ＜サービス事業内容の一例＞

- 健診費用の一部助成（最大4,000円）
- 各種講習会の利用 ※オンラインにも対応  
初任者研修に最適（受講料、教材費は無料）
- 会員交流事業（イベントに優待価格で参加可能）
- 慶事のお祝品贈呈

いつでも詳細の説明にお伺いします。  
お気軽にお申しつけください。



資料請求・お問い合わせ

0120-292-711

# 共助会からのお知らせ

退職年金の取扱い中止 令和3年3月末で終了します。

## ＜理由＞

1. 本会事務局は年間に沢山の退職事務を取り扱っていますが、そのうち年金を希望する方は1～2名、あるいは希望者のない年もあり、極めて少数です。
2. 年金受給者に比較して一時金受給者が金利の適用で不公平な状況になっています。現在は、超低金利時代であり、年金の支給が現状にそぐわない状況になっています。
3. これらのことから理事会の決定により、令和3年3月末をもって年金の取扱いを中止します。  
なお、既に年金を受給している方々については、何ら変更はありません。



# 資産運用報告

## 令和2年8月末現在 資産運用状況

(単位:円)

資産	取得価額	時価	評価損益
国内債券	3,205,337,662	3,492,549,684	287,212,022
国内株式	341,418,124	424,113,075	82,694,951
外国債券	12,326,789,337	12,750,364,922	423,575,585
外国株式	1,834,321,412	2,611,475,867	777,154,455
オルタナティブ	2,928,195,717	3,199,254,040	271,058,323
その他	1,378,083,413	1,377,995,764	△87,649
資産合計	22,014,145,665	23,855,753,352	1,841,607,687

時価総額 23,855,753,352

要支給額 24,377,162,076

充足率 =  $\frac{\text{運用資産の時価総額}}{\text{要支給額}}$  およそ97%

年初以来のコロナウイルスの世界的広がりは一向に収束の兆候も見られません。いったん落ち着いたかに見えたヨーロッパも再拡大の様子がうかがえます。今年の経済は日本も世界もコロナウイルスのために大きな影響を受けています。令和元年度末には世界の株価が下がって、共助会の充足率にも影響が出ました。幸い各国政府による景気刺激策により株価は再浮上して共助会の充足率も回復しました。しかし、コロナ禍が拡大を続ける限り世界経済の安定はありえないと思います。景気刺激策として低金利政策が継続されるため今後も厳しい資産運用を続けなければなりません。油断できない状況に変わりはありません。

共助会はポートフォリオの見直しをしていわゆる伝統4資産の他にオルタナティブ投資を取り入れるなど時代に対応した資産運用を進めています。安定した資産運用を心掛けてきましたし、これからもお預かりした資産を毀損することのない様心掛けてまいります。

今後も皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。